

令和元年度 収支決算報告書

(自：平成 31 年 4 月 1 日 至：令和 2 年 3 月 31 日)

【収入の部】(単位：円)

科目	予算額	決算額	差 額	適用
市社協助成金	50,000	50,000	0	活動運営費
区社協助成金	180,000	180,000	0	活動運営費
地区社協還元金	538,000	538,000	0	賛助会費の 60%
広報費	50,000	50,000	0	区社協助成金
助成金	20,000	20,000	0	地区連合町内会
雑収入	5,000	5,092	92	福祉のつどい祝い金 他
会 費	100,000	102,000	2,000	役員負担金
当期収入合計	943,000	945,092	2,092	
前期繰越金	338,157	338,157	0	
合 計	1,281,157	1,283,249	2,092	

福祉基金積立金	1,000,000
---------	-----------

【支出の部】

科目	予算額	決算額	差 額	適用
事業費	600,000	406,624	-193,376	福祉のつどい、研修会費等
広報費	100,000	0	-100,000	印刷費、研修会議費
事務費	90,000	87,339	-2,661	総会費、事務通信費他
会議費	100,000	77,012	-22,988	定例役員会、実行委員会等
渉外費	20,000	10,000	-10,000	慶弔費
助成金	329,000	339,000	10,000	地域福祉活動助成金
諸会費	40,000	27,000	-13,000	
予備費	2,157	0	-2,157	
当期支出合計	1,281,157	946,975	-334,182	
次期繰越金	0	336,274	336,274	
合 計	1,281,157	1,283,249	2,092	

令和 2 年度 収支予算書

(自：令和 2 年 4 月 1 日 至：令和 3 年 3 月 31 日)

【収入の部】(単位：円)

科目	前記決算額	当期予算額	適用
市社協助成金	50,000	50,000	活動運営費
区社協助成金	180,000	180,000	活動運営費
地区社協還元金	538,000	519,000	賛助会費の 60%
広報費	50,000	50,000	区社協助成金
助成金	20,000	20,000	地区連合町内会
雑収入	5,092	5,000	福祉のつどい祝い金 他
会 費	102,000	100,000	役員負担金
当期収入合計	945,092	924,000	
前期繰越金	338,157	336,274	
合 計	1,283,249	1,260,274	

福祉基金積立金	1,000,000
---------	-----------

【支出の部】

科目	前記決算額	当期予算額	適用
事業費	406,624	500,000	福祉のつどい、研修会費等
広報費	0	100,000	印刷費、研修会議費
事務費	87,339	100,000	総会費、事務通信費他
会議費	77,012	150,000	定例役員会、実行委員会等
渉外費	10,000	20,000	慶弔費
助成金	339,000	349,000	地域福祉活動助成金
諸会費	27,000	40,000	
予備費	0	1,274	
当期支出合計	946,975	1,260,274	
次期繰越金	336,274	0	
合 計	1,283,249	1,260,274	



岩間地区 社協だより

【発行・編集】

令和 2 年 (2020) 10 月 31 日

保土ヶ谷岩間地区社会福祉協議会

発行責任者 喜多ヨシエ

会長挨拶



この度、岩間地区社会福祉協議会の会長をお受けすることになりました喜多ヨシエです。どうぞよろしくお願いいたします。

長年にわたり畑尻前会長のご指導の下、岩間地区の理事会は会議の中で意思統一して様々な行事や活動に頑張ってきました。

最近では「まごころホルダー」に取り組み地域の高齢者やその家族にも喜ばれています。

畑尻会長のように貫禄も力もありませんが、岩間地区の理念「緩やかに、つながりのある町岩間地区」を目指して微力ながら務めさせていただきます。

現在は新型コロナウイルス感染禍という未体験の状況の中、様々な問題が累積しております。今後もインフルエンザ流行とコロナウイルス感染の狭間の中での活動を強いられざるを得ませんが、岩間地区の皆様の温かいご支援を頂きたく、どうかよろしくお願いいたします。

末筆ですが前畑尻会長に於かれましては長い間お世話になりましたが更に相談役として今後とも岩間地区の社会福祉協議会にご尽力いただくよう、よろしくお願いいたします。

喜多ヨシエ

岩間地区社会福祉協議会名簿

(敬称略)

役職名	氏 名	地域の役職	役職名	氏 名	地域の役職
会 長	喜多ヨシエ	コンフォール明神台 2 号棟自治会長	理 事	和氣 三男	岩間地区スポーツ 推進委員会顧問
副会長	藤澤 守	星川 1 丁目自治会長	理 事	久保 進	岩間地区保健活動 推進委員会会長
副会長	宮司 弘招	岩間地区 民生委員児童委員	理 事	長岡 和愛	星川地区 民生委員児童委員
会 計	上西 純子	星川地区 民生委員児童委員	理 事	原田 裕子	星川地区 民生委員児童委員
事務局長	田村 猛	星川地区 民生委員児童委員会会長	理 事	中越 恵子	岩間地区 民生委員児童委員
事務局次長	荒川 朱美	岩間地区 民生委員児童委員会会長	理 事	矢島 和代	岩間地区 民生委員児童委員
相談役	畑尻 明	保土ヶ谷区 社会福祉協議会会長	理 事	亀谷由美子	岩間地区 民生委員児童委員
監 事	青山 賢一	神戸町いきいき会会長 (友愛推進委員)	理 事	阿部真由美	星川地区主任児童委員
監 事	小谷由美子	星川地区 民生委員児童委員	理 事	武富 裕子	岩間地区主任児童委員

～♪歌声響く!♪～



2020年1月25日(土)(岩間市民プラザ)
もしもの時も安心『まごころ(見守り)ホルダー』の普及活動の一環として

『まごころフェスタ、みんなで歌いましょう』を岩間プラザのホールにて開催。168名集まりました。

第一部はまごころホルダーの歩み

- 1) げんきなうちから地域とのつながりを作る
- 2) 地域の中に見守りの目を増やすこと

ゆるやかなつながりのある地域づくりの大切さを講演

第2部は「ほどがや区の歌合唱団」の公演

団員30余名による、保土ヶ谷区の歌、セ・シボンなど全5曲の熱唱のあと、参加者全員で「みんなで歌いましょう」♪上を向いて歩こう、♪学生時代、♪フニクリフニクラなど全7曲を合唱、館内いっぱいダイナミックな歌声が響き渡り「よかった、楽しかった」と皆さん大変満足してお帰りになりました。

藤澤 守



研修会を終えて

コロナウイルス騒ぎで地域の様々な行事が中止になる中、岩間地区社協では、10月4日(日)にあえて防災士の田上 敬氏をお招きして「地域防災の研修会」を開催しました。

会場となった星川1丁目自治会館は100名程収まる広さがあります。しかし、1度の入場者を半分ほどに抑え、午前、午後の2回にわけ入場者の検温はもちろんソーシャルディスタンスを保ち、更に換気に充分に行いながらの研修会となりました。



講演の内容としては、元自衛官ですので被災地に派遣された体験の話では普段は聞けない生々しい逸話を数々話していただきました。

特に避難所での生活は過酷であり、当地域が被災した場合、相当な覚悟必要であり「テレビで中継された時には既に状況が沈静化した状態なんですよ!」という言葉が強く印象に残り、日頃の心構えの大切さを強く感じた研修会でした。

田村 猛



第4期「保土ヶ谷ほっとなまちづくり」協議会始まる

9月23日(水)岩間地区社会福祉協議会5役と保土ヶ谷区社協、区役所、星川ケアプラザ、岩崎ケアプラザの担当者による第4期「保土ヶ谷ほっとなまちづくり」の地区別検討会を行いスケジュールの確認(今期はコロナ禍の為約3か月の遅れ)および各地区で「現状と課題」を持寄り再協議することになりました。

10月16日(金)協議では現状のままでの先細りを防ぐ為若い世代を如何に巻き込むか、イベントの意図や目的を伝え、情報を発信しなければ活動自体が弱体化して行ってしまうという事の対案。次回の課題として地区別の紙面の文言や内容を考えて来る等々、3月発行に向けて協議進行中でありませう。

宮司弘昭

「まごころホルダー」実行委員会

「まごころホルダー」を皆様に配布して早3年。462名の保有者がおります。運営マニュアルに従い、個々人の更新時期を迎えました。しかしながら更新作業が面倒だとか、ひとりで複数持ちたい、との意見が多々あり、マニュアル、ルールの見直しが必要となってきました。以上の意見を踏まえて、今年は「見守る若い人にもホルダーの存在を知ってもらおう!!」と言う事も目標のひとつに加えることにしました。

この1年間に失くしてしまい、ふたつ目のホルダーを持つ方は4~5人いましたが、幸いの事に道で倒れて、星川、岩崎地域ケアプラザに連絡が入るような事はありませんでした。

委員会ではさらに現場担当の民生委員からの情報や意見を聞き取り、議論を重ねて「まごころホルダー」の普及に努めていきたいと思っております。

荒川朱美

買い物難民解消の達成

私たちの住む明神台団地は高台にあり環境には恵まれている反面、団地にはコンビニ1軒だけで高齢者の人々は生活用品の買い物に苦労している状態でした。岩間地区社協の集まりの中でも、常に住民の希望は団地にスーパーマーケットを作って欲しいと要望があり、3つの自治会長と民生委員で幾度も協議を重ね、千丸台団地まで見学に行き(株)イオンの話を聞きました。



【移動販売を団地内市営駐車場で実現】

売り場を確保するために市の指定管理に要望を出しました、その時点ではNOでしたが、その後の動きの中(詳細は略)でこの度、高齢者や子育ての支援を基に市営駐車場の空き地を使用する許可が下りることになり、実現することになりました。

なにより高齢の方や身体の不自由な人に喜ばれております。やっと2年間の長い運動で夢が実現できました。ここにご協力していただきましたすべての皆様に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

喜多ヨシエ

更に飛躍されることを祈念します

岩間地区の皆さん、この度、岩間地区社会福祉協議会会長を令和2年3月に退任いたしました。平成19年4月より13年の長い間、皆様方の温かい、ご支援・ご協力のもと無事に大任を果たせた事に心からお礼申し上げます。



『ゆるやかなつながりのあるまち岩間地区』を目指して。「福祉の集い」を始め「ミニ運動会、ワールドカフェと研修会、岩間地区社協だよりの発行」などなど地域福祉の向上に皆さんと共に尽力出来た事は、非常に幸せでありました。特に区内では唯一、いざと言う時に備える為の見守りツールである「まごころホルダー」の作成・配布は岩間地区社協の大きな財産であり誇りであると考えております。本当に有難うございました。岩間地区の皆さん、これからは喜多会長を中心により更に飛躍される事を祈念申し上げます。

畑尻 明

【編集後記】「岩間地区社協だよりの」20号発行にあたり印刷方式を大幅に刷新いたしました。如何でございますでしょうか?手作り風の従来形式も捨てがたいのですが、やはり読者のみなさんに少しでも明快にお伝えするにはカラー&上質紙が最適と思い発心致しました。幸いコストも昨今のインターネット印刷で格安に出来た事も幸いでした。今後ともよろしくお願い致します。(宮)

【編集人】喜多ヨシエ、藤澤 守、宮司弘昭、田村 猛、荒川朱美、上西純子